

第2回 （仮称）平和資料館のあり方を考える懇話会

日 時：平成29年2月15日（水）

13：30～15：30

場 所：小倉リーセントホテル（2階）

「玄海の間」

次 第

1 開 会

2 報 告

（1）第1回懇話会における委員の主な意見

3 議 題

（1）（仮称）平和資料館のコンセプト・建設場所等

4 事務連絡

（1）次回日程について

5 閉 会

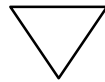
(仮称)平和資料館のあり方を考える懇話会の進め方

1月 18日
(水)

第1回 懇話会

(議題)

- ・他館のコンセプト事例及び・コンセプトに即した機能事例
- ・北九州市の戦前の歴史
- ・(仮称)平和資料館のコンセプト・建設場所(案)についての説明

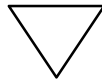


2月 15日
(水)

第2回 懇話会

(議題)

- ・(仮称)平和資料館のコンセプト・建設場所等についての意見聴取

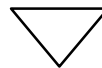


3月 24日
(金)

第3回 懇話会

(議題)

- ・1～2回懇話会のまとめ資料
- ・(仮称)平和資料館のコンセプト・建設場所等
- ・委員意見の中間まとめ
- ・についての意見聴取



4月～5月

第4回～5回 懇話会

(議題)

- ・委員意見の最終まとめについての意見聴取

報告（１）

第１回懇話会における委員の主な意見

【平和資料館の必要性等について】

・子どもの頃から８月９日になると父親から「もし小倉に原爆が落ちていたら、お前は生まれていない」と言われて育った。その言葉は私の息子にも語り継いでいる。北九州にこのような施設ができる事は、すごく意味のあることだと思う。

・小倉が原爆投下予定地という事を全く知らなかった。しばらくした後に、長崎ではなく小倉に原爆投下する予定だったことを知り、運命的なものを感じた。戦後 70 年経って平和資料館をつくる事は、戦後の重みを負った精神性の高いものであって欲しいと願っている。

・戦後 70 年近いこの時間は、押しとどめられない本当に大変な時間だと感じている。今、こうした施設をつくろうというのは、本当に最後のチャンスだと思う。ものの考え方は人それぞれ自由ですが、事実の一つでなければいけない。正しい事実を正しく伝える施設をきちんとつくっていただきたい。

・平和という事を後世の人たちにも、皆さん方がはっきりわかって「戦争という事はしてはいけない」ということを今回、北九州市でも（平和資料館の設置を）やろうという事に対して私たちも本当に賛成している。

・建物自体が鎮魂の思いを抱かせるような、他の商業施設とは違った建物であって欲しい。鎮魂の思いを感じさせるような場所と建物であって欲しいと思っている。

【体験を伝えていくことの重要性について】

・父母や祖母から戦争の話は聞いているが、直接体験したことはない。八幡大空襲の膝元で、近所の方からも戦争の話を聞くことはたくさんあった。子どもたちに二度とこういう思いをして欲しくない、この思いを引き継いで欲しいと思っている。

・防災に関する授業を長年行っており、阪神淡路大震災、東日本大震災や熊本地震などを通じ、その地で起こった出来事を記録すること、語り継ぐこと、次世代が学んでいくことの重要性を常日頃感じている。もちろん戦災と震災とは違う面があるが、教訓という部分では共通する所があるのではないかと考えている。

（仮称）平和資料館のあり方を考える懇話会委員名簿

氏 名	所 属 等
天川 悦子	北九州童謡・唱歌かたりべの会会長
上田 眞奈美	北九州市 P T A 協議会副会長
甲木 正子	西日本新聞社北九州本社営業部長
後藤 みな子	北九州市文学協会理事長
佐方 はるみ	九州女子大学人間科学部特任教授
戸高 一成	呉市海事歴史科学館（大和ミュージアム）館長
中村 明俊	長崎原爆資料館館長
原田 純子	南九州市知覧特攻平和会館主査
南 博	北九州市立大学地域戦略研究所教授
三好 正一	北九州市遺族会連合会会長
山本 みさと	太鼓と平和を考える学生連絡協議会代表

（敬称略・50音順）

議題（１）

（仮称）平和資料館のコンセプト・建設場所等

懇話会の活発な議論のため、本市が例示している別紙「（仮称）平和資料館のコンセプト・建設場所（案）」について論点を示している。

論点１．（仮称）平和資料館のコンセプトについて

論点２．（仮称）平和資料館の主な展示内容について

論点３．（仮称）平和資料館の展示方法について

論点４．（仮称）平和資料館の建設場所について

（仮称）平和資料館のコンセプト・設置場所（案）

本市では戦争の悲惨さや平和の大切さを市民に伝えるため、「原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」や「北九州市非核平和都市宣言」の実施、「戦時資料展示コーナー」における戦時下の暮らしを中心とした資料の展示等、様々な取り組みを進めてきた。

戦後７１年が経過し、戦争の記憶の風化が懸念されており、本市に関係する戦争の記憶を後世に伝えることが大きな課題となっている。

そのため、戦争の悲惨さを伝え、平和の大切さ、命の尊さを考えるきっかけとなるよう、新たに（仮称）平和資料館を建設するもの。

なお、下記のコンセプト等は懇話会の活発な議論のため、例示している。

１（仮称）平和資料館のコンセプト

- 北九州市における戦争の悲惨さを保存・継承する施設
- 平和の大切さ、命の尊さを考えるきっかけとなる施設

２（仮称）平和資料館の主な展示内容

- （１）八幡大空襲を始めとする本市の空襲に関する資料
- （２）長崎の原爆に関する資料
- （３）戦後の復興に向けた市民生活に関する資料
- （４）米国国立公文書館から収集した資料

※現在のコーナーに加える主な資料

３（仮称）平和資料館の建設候補地

小倉北区：勝山公園の一角（関連事項・小倉造兵廠、長崎原爆の投下予定地）

他に市議会より八幡東区、門司区「めかり山荘跡地」の意見もでている。

議題（１）

（仮称）平和資料館のコンセプト・建設場所

（参考資料）

特徴的な展示事例

（延床面積 1,800 m²以上の施設）

ピースおおさか大阪国際平和センター

設立主体：大阪府・大阪市

運営者：公益財団法人大阪国際平和センター

所在地：大阪府大阪市中央区大阪城2-1

開館年月：平成3(1991)年9月〈平成27年リニューアル〉

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日、国民の祝日の翌日(月曜日が祝日の場合、翌日の火曜日は開館)、
年末・年始(12月28日～1月4日)、館内整理日(毎月月末)

※但し、祝日の翌日及び月末が日曜日にあたる場合は、
その翌々日の火曜日

入館料：大人250円 / 高校生150円 / 小・中学生無料

延床面積：3,480m²



1945年(昭和20年)3月13日の第一次大阪大空襲後の大阪ミナミ・戎橋筋界隈の焼け跡の様子をジオラマ化。
このジオラマと床面をスクリーンにして空襲の様子をマッピング映像で再現する。



広島平和記念資料館

設立主体：広島市

運営者：公益財団法人 広島平和文化センター

所在地：広島市中区中島町1番2号

開館年月：昭和30(1955)年〈本館〉

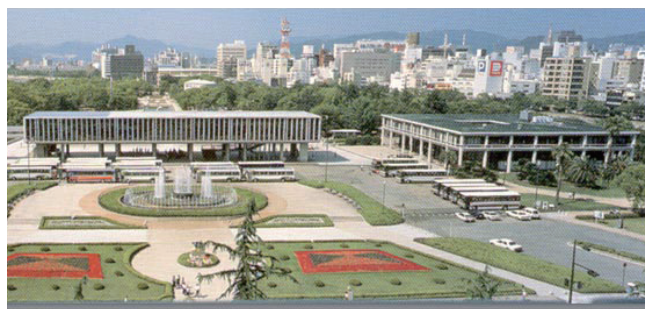
開館時間：開館8:30

閉館18時(8月:19時(8/5, 8/6は20時)、12~2月:17時)

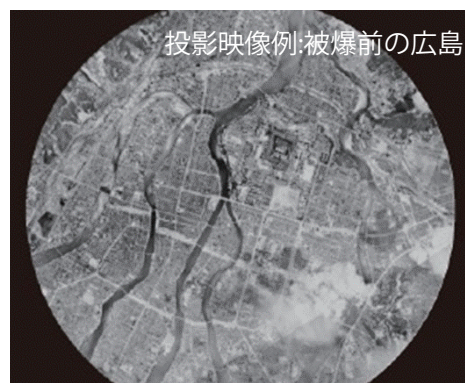
休館日：1 2月3 0日及び3 1日

入館料：大人 200円 / 高校生 100円 / 小学生・中学生 無料

延床面積：本館／1,600m² 東館／10,300m²



ホワイトパノラマ模型



投影映像例:被爆前の広島

爆心地を中心に、被爆当時の広島市の直径5キロメートルの範囲を、縮尺千分の1の白色模型にし、航空写真を基に、被爆前後の様態をプロジェクターの映像で投影。



本館「8月6日のヒロシマ」集合展示



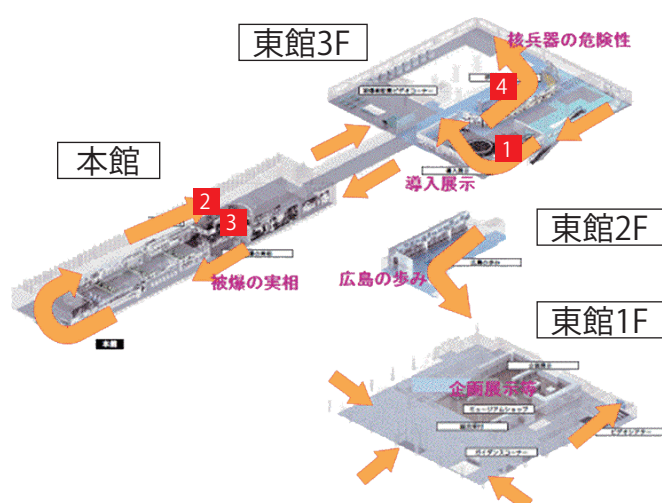
3

廃墟となった広島の写真为背景に大型の被爆資料や亡くなった人の衣服、遺体ややけどを負った人の写真などを展示。集合展示の向かい側では、被爆当日の凄惨な状況を、被爆資料や写真、「市民が描いた原爆の絵」を展示して伝える。



大型の情報検索装置「メディアテーブル」

タッチパネルで画面展開し、自分が知りたいさまざまな情報を入手することができる。



引用元 広島市ホームページ>原爆・平和>被爆体験や平和への思いの共有>広島平和記念資料館
 >広島平和記念資料館の展示更新>新たな展示手法など
 広島平和文化センター>機関誌「平和文化」>「平和文化」>No183 平成25年(2013年)7月号
 >広島平和記念資料館を全面的にリニューアル

埼玉県平和資料館

設立主体：埼玉県

運営者：サンワックス・太平共同事業体

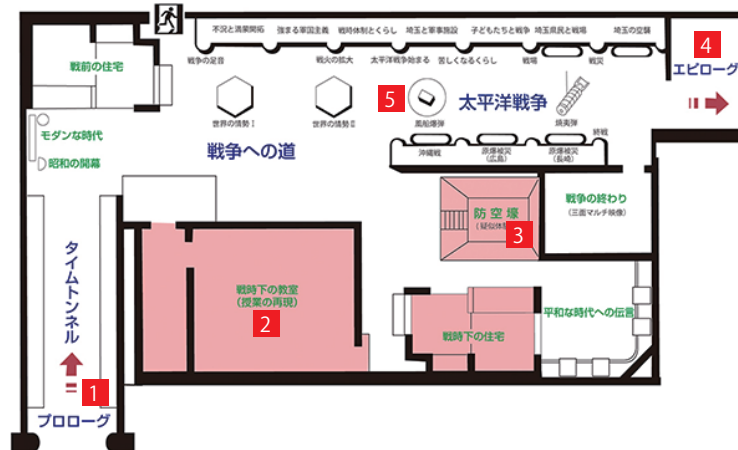
所在地：東松山市岩殿241-113

開館年月：平成5(1993)年

開館時間：午前9時～午後16時30分(入館は午後16時まで)

休館日：県民の日を除く毎週月曜日（祝日の場合はその翌日）、
12月29日～1月3日

入館料：無料

延床面積：2,930m²

プロローグ(タイムトンネル)

入り口をくぐるとライトの演出で、来場者を現代から当時の世界へと誘う演出。



戦時中の国民学校(体験コーナー)

修身(道徳)の授業の再現映像は、戦争に勝ちぬく人間を育てる授業風景。現在の教育と比較して考えさせる。



防空壕(体験コーナー)

戦時中のある一日を15分間で疑似体験できる展示。国民学校の教室のなかで、授業を体験し、その途中で空襲警報が流れ、防空壕に避難すると、音と光と振動により空襲の疑似体験ができる。



エピソード 5 〈戦争への道〉〈太平洋戦争〉

「平和の創造」をテーマに、世界と日本の今を中心に展示。「今日の平和を未来につなげるには」と来館者に問題を投げかける。不況から軍国主義が強まり、やがて中国と全面戦争、太平洋戦争などの流れと、県民の耐乏生活や戦争との関わりを紹介。

筑前町立大刀洗平和記念館

設立主体：筑前町

運営者：筑前町

所在地：福岡県朝倉郡筑前町 高田2561-1

開館年月：平成21(2009)年10月3日

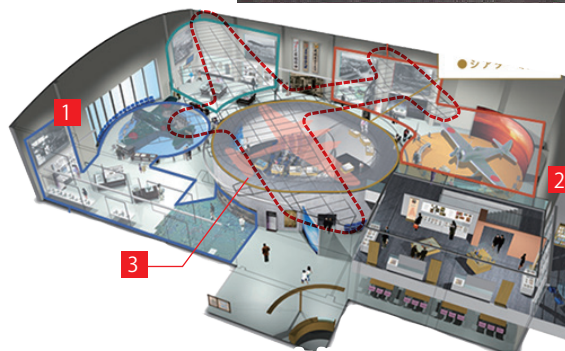
開館時間：午前9時～午後5時

休館日：年末年始のみ(12月29日～1月3日)

入館料：大人 500円

高校生 400円 / 小学生・中学生 300円

延床面積：1,880m²



戦闘機の実機や、天井から吊り下げられたB-29原寸大シルエットなどが伝える実際のサイズ感や質感は、戦闘や空襲のイメージをより感覚的に、リアルに見る人に伝える。

議題（１）

（仮称）平和資料館のコンセプト・建設場所

（参考資料）

特徴的な展示事例

（延床面積 1,000 m²前後の施設）

姫路市平和資料館

設立主体：姫路市

運営者：姫路市

所在地：姫路市西延末475番地(手柄山中央公園山上)

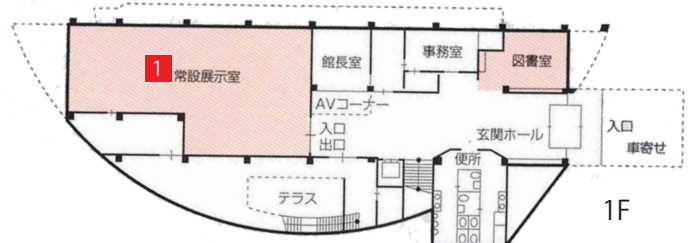
開館年月：平成8(1996)年4月26日

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)

休館日：毎週月曜日、国民の祝日の翌日、年末年始

入館料：一般:200円 / 小中学生:50円

延床面積：1,140m²



空襲から逃げる人々を表したジオラマを中心に背景となる映像、そして空襲警報やサイレン等の音響や照明、振動等を合わせ、複合的な演出を用いて、その恐ろしさを表現している。



舞鶴引揚記念館

設立主体：舞鶴市

運営者：舞鶴市

所在地：京都府舞鶴市字平1584番地 引揚記念公園内

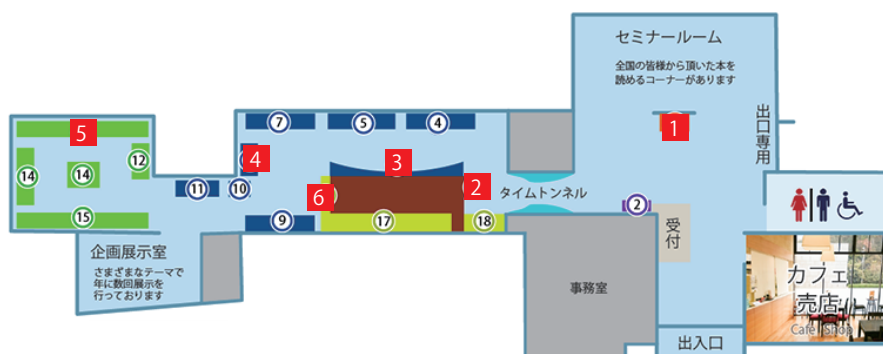
開館年月：平成10(1988)年

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日：12月29日～1月1日、毎月第3木曜日(8月と祝日を除く)

入館料：一般300円 / 小・中・高・大学生150円

延床面積：860m²



引き揚げ船で時間を知らせていた鐘。
ヒモを持つと音が鳴る。



赤紙の展示。



度々行われた持ち物検査をくぐり抜け奇跡的に持ち帰られた「白樺日誌」を展示。



ラーゲリー(収容所)での食事の様子を再現。



引揚船の模型、船内で使用した鐘の展示。



歓迎アーチと引揚橋の再現。

予科練平和記念館

設立主体：阿見町

運営者：阿見町

所在地：茨城県稲敷郡阿見町大字廻戸5番地1

開館年月：平成22(2010)年

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、12月29日～1月3日

入館料：一般500円/小・中・高校生300円

延床面積：1,400m²



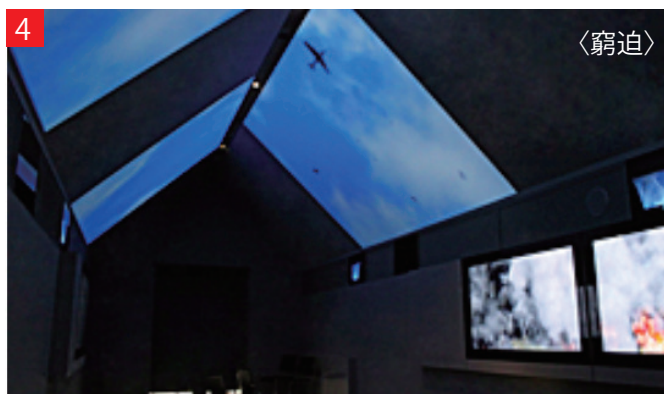
予科練習生を模したガラスケースが立ち並ぶ展示室1「入隊」では、少年たちがどのようにして予科練習生となっていたのか、その状況や入隊までの様子を、映像を交えて展示。



普通の少年から軍人へ。彼らがどのような生活を送っていたのか、寝起きた兵舎と勉強した教室を部分的に再現した展示室でその実情にせまる。



私物を入れた「手箱」とよばれる木製の箱を模した展示ケースのなかに、練習生たちの手紙の実物を展示。また、手紙を書き起こして本にしたものも自由に手にとって閲覧できる。



展示室の天井と壁面に映し出される映像によって、当時の状況や空襲の恐ろしさを擬似的に体感する。また、実際の空襲を体験した人たちが、その様子を映像のなかから語りかける。



予科練と「特攻」作戦のかかわりを、練習生の全戦死者約18,000人と同じ数の光が浮かび上がる展示室のなかで紹介。予科練平和記念館のメッセージを伝えるエピローグの展示。

長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館

長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム

設立主体：長崎県

運営者：株式会社乃村工藝社

所在地：長崎市松が枝町4-27

開館年月：平成26(2014)年4月26日リニューアル

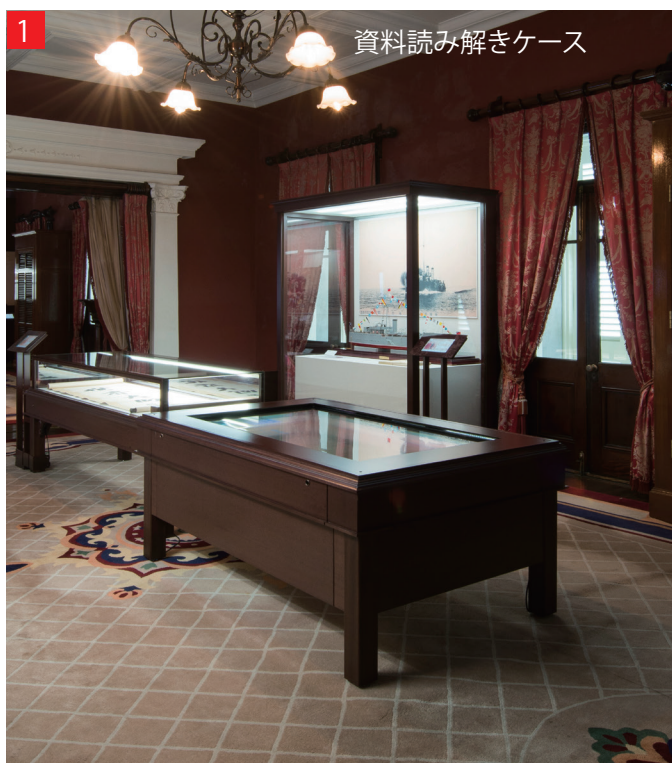
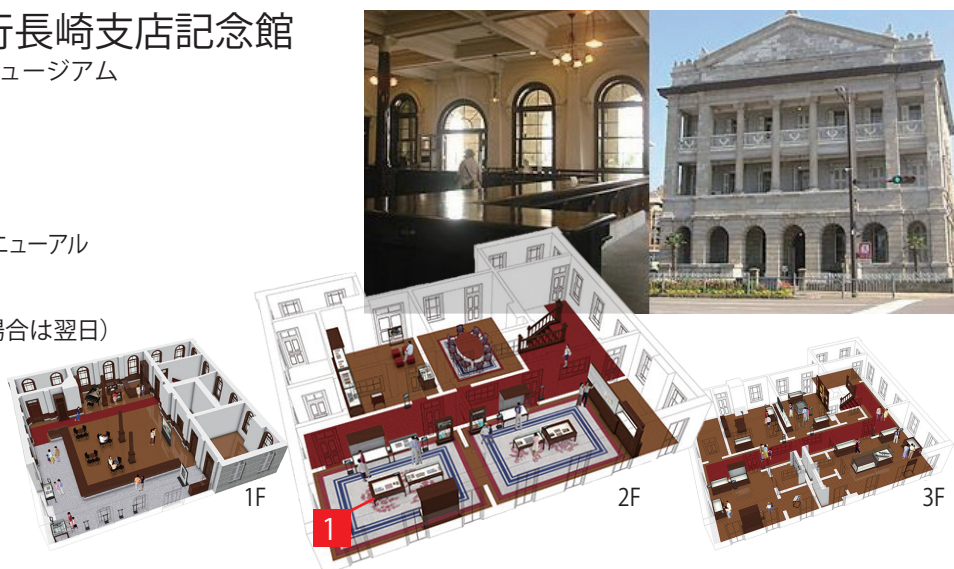
開館時間：午前9時～午後5時

休館日：毎月第3月曜日(祝日の場合は翌日)

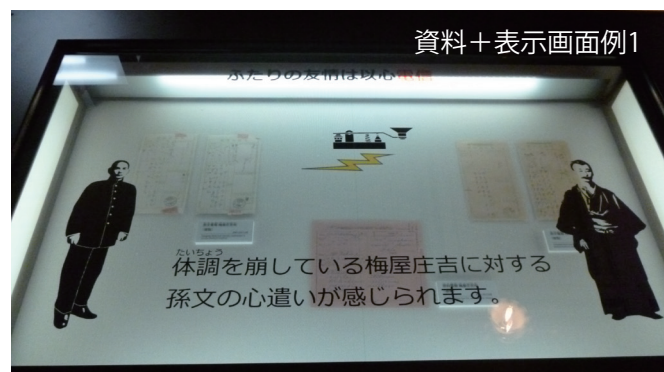
入館料：一般300円

小・中学生150円

延床面積：1,090m²



資料読み解きケース



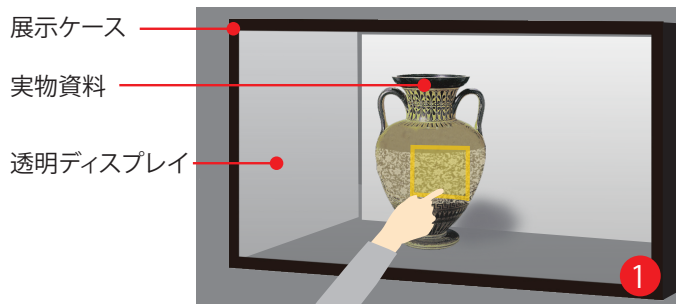
資料+表示画面例1



資料+表示画面例2

展示資料ケースのガラス面の代わりに透明液晶タッチパネルを装着した“資料読み解きケース”。展示資料をより深くわかりやすく読み解く解説アニメーションを資料に重ねて見ることができる。

装置のイメージ



見る人に画面にタッチさせたり、人感センサーで人を感じする



資料を読み解く解説が表示される

議題（１）

（仮称）平和資料館のコンセプト・建設場所

（参考資料）

戦時資料展示コーナー

戦時資料展示コーナーの展示内容について

1 概要

北九州市では、市民の皆様からご寄贈いただいた戦時資料を展示し、戦争の悲惨さや平和の尊さを多くの市民に伝えていくため、平成16年8月、北九州市立埋蔵文化財センター内に戦時資料展示コーナーを開設した。

戦時下の市民が使用していた日用品や出征する兵士へ贈った品、また戦地の兵士とその家族の間に交わされた手紙など、当時の人々の暮らしぶりや、心情が伝わる戦時資料を展示するとともに、小倉造兵廠や、八幡大空襲などについて、写真パネルなどにより、わかりやすく紹介している。また、長崎市の協力を得て、原爆被災資料の展示も行っている。



(1) 展示面積：約150㎡

(2) 展示点数：約180点

(3) 所蔵点数：約970点

①債券・証書（通知書、召集令状等を含む）

②書籍・チラシ・ポスター

④手帳（勤務手帳、青年学校手帳、工員手帳等）

③衣類・布類・靴

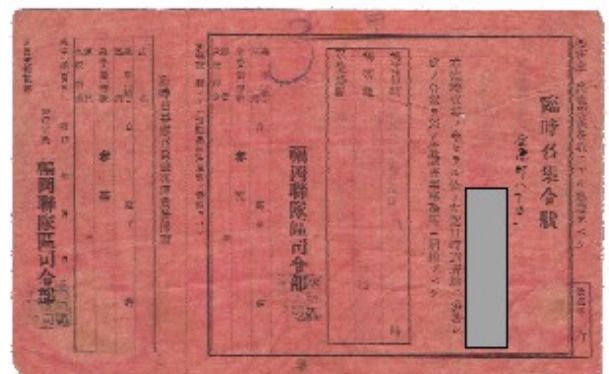
等

2 主な展示

(1) 市民から寄贈を受けた資料（生活関係）



▲八幡空襲により溶けたピン



▲召集令状



▲ポスター（ラジオの許可）



▲ポスター（米の抛出）

（2）写真パネル



▲小倉造兵廠での作業



▲八幡大空襲後の市街地

（3）原爆被災資料



▲やかん



▲瓦

議題（１）

（仮称）平和資料館のコンセプト・建設場所

（参考資料）

北九州市の空襲被害

北九州の主な空襲（「北九州市史」より）

1 八幡を襲った主な空襲

（1）昭和19年6月16日（北九州全域）

- ・B29による日本本土空襲の最初のもの。
- ・午前零時24分空襲警報が発令。空襲警報発令後20数分後には最初の爆弾が若松に投下され、その後約2時間にわたり、北九州5市は47機のB29による波状攻撃を受けた。
- ・陸軍第19飛行団（小月）所属の戦闘機8機が迎撃、小倉・八幡地区、関門地区の高射砲で迎撃した。
- ・B29による北九州初空襲のニュースは、ワシントンでは国会の議事を中断して、上院・下院で発表され、新聞も全段抜き出しの見出しで報道した。

【参考：被害状況】

都市	死者	傷者	全焼家屋	半焼家屋	全壊家屋	半壊家屋	被災者
門司	33	25	—	—	25	104	426
小倉	94	126	—	—	79	240	—
戸畑	52	43	—	—	22	55	378
若松	6	20	—	4	—	—	—
八幡	129	152	107	—	—	125	928
計	314	366	107	4	126	524	1,732

（2）昭和19年8月20日（八幡）

- ・午後4時32分空襲警報が発令。その後5時頃から5時50分まで、B29約20機により、主に八幡製鐵所が爆撃を受けた。
- ・また、21日の午前零時20分頃から午前1時40分頃まで、小倉、八幡が爆撃を受けた。
- ・陸軍第19飛行団（小月）所属の戦闘機8機が迎撃、戦闘機「屠龍」が折尾上空でB29に体当たりを行った。

【参考：被害状況】

都市	死者	傷者	全焼家屋	半焼家屋	全壊家屋	半壊家屋	被災者
小倉	3	2	1	2	—	4	—
戸畑	29	40	—	—	16	50	300
八幡	136	224	125	—	—	545	2,680
計	168	266	126	2	16	599	2,980

(3) 昭和20年8月8日（主に八幡・若松・戸畑）

- ・午前10時、B29約120機が来襲。
- ・八幡・若松・戸畑は1時間にわたる焼夷弾攻撃に見舞われた。
- ・八幡では八幡製鐵所の工場や宿舍、中央町商店街をはじめ、前田、尾倉等など多数焼失し、約2,500人が死傷、約14,000戸が焼け、約53,000人が焼け出された。

【参考：被害状況】

都市	死者	傷者	全焼家屋	半焼家屋	全壊家屋	半壊家屋	被災者
小倉	1	7	11	3	—	—	—
戸畑	27	17	—	—	318	17	1,800
若松	65	120	—	1,173	—	—	4,500
八幡	1,785	610	13,296	—	—	93	53,476
計	314	366	107	4	126	524	59,776

2 八幡の復興